Column

2021.06.22

【shiseido art egg 連動企画】アートの新しい目　Vol.1　石原 海

文/佐宗亜衣

資生堂ギャラリーは、アーティストとともに新しい未来を探る、国内初の若手公募プログラムであるCONDITIONS-アイ-(Conditions-eye)を2020年に開催しました。第1回に選ばれた石原 海、小田 香、ハンドレッド・ウィンドウ、ホンジャ・ヒョンの4名の作家は、コロナ禍のなかでどのような作品を生み出したのか、2021年5月10日(土)~12月12日(日)に行われた展覧会を通じて、アーティストたちが新たな表現に挑戦する姿を目撃することになりました。そこで、アーティストとともに歩む資生堂ギャラリーの活動を紹介します。

Vol.1　石原 海

現実に即さない、ファンタジアの世界。

『遠くの人たち』2020年　HD ビデオ

『遠くの人たち』2020年　HD ビデオ

石原 海 (以下、石原)：2020年に開催されたCONDITIONS-アイ-(Conditions-eye)は、コロナウイルス感染症、世界的な外出禁止令という、人類が初めて経験したパンデミックのタイミングでスタートしました。そのなかで、私は、自分の作品を通じて、自分にとって大切なものを見つめ直すことになりました。それまでは、自分の作品を通じて、自分の外側にある社会や、自分の内側にある、自分の感覚や、自分の思考を、ひとつの作品のなかに、ごちゃまぜにしてしまっていました。自身にとって大切なものが、何に、どこに、どのように、どのタイミングで、どのように、どのくらいの大きさで、どのくらいの強さで、どのくらいの速さで、どのくらいの長さで、どのくらいの重さで、どのくらいの温度で、どのくらいの湿度で、どのくらいの匂いで、どのくらいの味で、どのくらいの音で、どのくらいの光で、どのくらいの色で、どのくらいの形で、どのくらいの質感で、どのくらいの、、、